

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長様

郵便番号 〒750-8512

住 所 山口県下関市東大和町1-10-12

氏 名 株式会社 松岡

代表取締役 松岡隆雄

(代理人)東京湾岸物流センター所長 谷本明

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社松岡		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島88		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	自社冷蔵倉庫を基盤とする総合物流サービス		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,068	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2023 年度 ～ 2025 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度		目標排出量
	(2022年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2024年度)	()年度)	()年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 3,931	(実) 3,931	(実) 3,783	(実) 3,783	(実) 3,160	(実) 3,160	(実)	(実)	(実) 3,815
	(調) 3,923	(調) 3,923	(調) 3,228	(調) 3,228	(調) 3,160	(調) 3,160	(調)	(調)	(調) 3,807
削減率			(実) 3.8%	(実) 3.8%	(実) 19.6%	(実) 19.6%	(実)	(実)	(実) 3.0%
			(調) 17.7%	(調) 17.7%	(調) 19.4%	(調) 19.4%	(調)	(調)	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	(入出庫数量/4)+収容能力				原単位等の単位	t-CO2/t			
	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度		目標とした値
	(2022年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2024年度)	()年度)	()年度)	
排出量原単位等の値	0.01719		0.01720		0.01424				0.01660
活動量の値	228,629		219,903		221,901				-
排出量原単位等の削減率			-0.1%		17.2%				3.4%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	予定した削減のための措置を実施してCO2排出量で約4%の削減効果がありました。一方で市況の影響により貨物の動きが想定を下回り活動量(入出庫量)が約4%減少したことから、原単位の削減には至りませんでした。	
第2年度	活動量(入出庫量)が前年より0.9%増加しましたが、CO2排出量で前年比16%減少したことから、原単位も目標3.4%を超える17%の削減を行えました。	
第3年度		
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--	--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●照明の消灯 事務所・現場の昼休み中の消灯、荷主からの依頼状況に伴って入出庫作業の間隔があき、荷役作業に影響を与えない箇所の消灯徹底を図る。 ●事務所空調機の適正な運転 事務所の温度設定を適正化して空調機器の過剰運転を防止する。 ●トラックバースからの外気侵入対策の徹底 ●トラックバースの外気侵入対策工事(除湿クーラー設置) トラックバースからの外気侵入を抑え、フロアの温度上昇を抑える。 ●防熱扉の開放時間を減らす ●フォークリフト荷役時における防熱扉の開放時間削減や外気侵入対策(冷凍機運転機会の削減) ●ピッキング作業における庫内出入り時の防熱扉の開放時間削減(冷凍機運転機会の削減)
<p>第 1 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●照明の消灯 事務所・現場の昼休み中の消灯、消灯できる箇所の消灯を実施しています。 ●事務所空調機の適正な運転 事務所の温度設定を適正化して空調機器の過剰運転を防止しました。 ●トラックバースからの外気侵入対策の徹底 除湿クーラーの運転及び外気侵入対策を継続して実施 ●防熱扉の開放時間を減らす 各庫防熱扉の開放時間を減らすように実施しました。
<p>第 2 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●照明の消灯 事務所・現場の昼休み中の消灯、消灯できる箇所の消灯を実施しています。 ●事務所空調機の適正な運転 事務所の温度設定を適正化して空調機器の過剰運転を防止しました。 ●トラックバースからの外気侵入対策の徹底 除湿クーラーの運転及び外気侵入対策を継続して実施 ●防熱扉の開放時間を減らす 各庫防熱扉の開放時間を減らすように実施しました。
<p>第 3 年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	屋上の総出力750kwの発電設備を設置	2016年
太陽光	2023年度 年間発電電力量 1,017,213Kwh/年	
太陽光	2024年度 年間発電電力量 1,006,995Kwh/年	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	●貨物の受入れや保管で発生する廃棄物の分別リサイクルをすすめ、ごみの減量化を行います。(ダンボール、ストレッチフィルム、PPバンド、OA用紙)
第1年度	ごみの減量化につきまして、総量211tのリサイクルを行いました。
第2年度	ごみの減量化につきまして、総量228tのリサイクルを行いました。
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	荷主、運送業者に対して環境負荷低減の取組の要請(低燃費車使用、エコドライブの実施)
第1年度	荷主、運送業者に対して環境負荷低減の取組の要請(低燃費車使用、エコドライブの実施)
第2年度	荷主、運送業者に対して環境負荷低減の取組の要請(低燃費車使用、エコドライブの実施) 神奈川VPP形成促進事業参画と上げデマンドレスポンス実証への参加(実証の削減効果は非化石証書484kw分)
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,931 t-CO ₂	3,783 t-CO ₂	3,160 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,135 KL	2,054 KL	2,068 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
東京湾岸物流センター	川崎市川崎区 東扇島88	3,931	3,783	3,160	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度